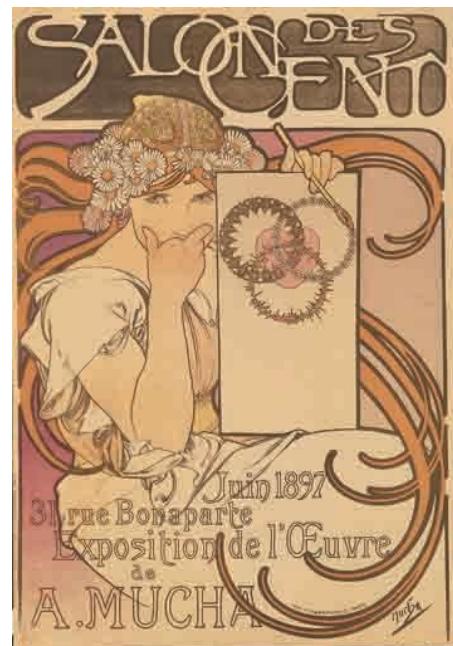


「ロートレックとミュシャ パリ時代の10年」

2022年10月15日（土） - 2023年1月9日（月・祝）

大阪中之島美術館

大阪中之島美術館では、2022年10月15日（土）から2023年1月9日（月・祝）まで、「ロートレックとミュシャ パリ時代の10年」を開催します。※本リリース中、画像No.は広報作品画像です



本展は、アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック（1864-1901）とアルフォンス・ミュシャ（1860-1939）が芸術の都パリで活躍した1891年から1900年までの10年間に焦点を当て、二人が共通して取り組んだ石版画ポスターを中心にご紹介するものです。ロートレックは1891年に第1号ポスターとなる《ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ》を制作、その約3年後、ミュシャも第1号ポスター《ジスマンダ》を発表しました。これを機に、いずれも時代の寵児として活躍していきます。

二人とも第1号ポスターで脚光を浴びましたが、その活動拠点は、ロートレックがモンマルトル、ミュシャがモンパルナスとセーヌ川を挟んで隔たり異なっていました。本展では、アトリエ、印刷会社、クライアントなど作品制作をとりまく様々な点にも着目し「よき時代（ベル・エポック）」の双璧をなす二人のポスター作家の実像に迫ります。

また、わずか10年内にこの世に送り出された宝物のようなロートレック作全ポスター作品31点を一堂に紹介すると共に、当館に寄託されているサントリー・ポスター・コレクションならではのステート違いや試し刷りの段階のものも豊かに展示する極めて稀な機会です。どうぞお楽しみください。

1 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 《サロン・デ・サン 54号室の女性船客（第3ステート）》 1895年

2 アルフォンス・ミュシャ 《サロン・デ・サン ミュシャ作品展》 1897年

本展のみどころと章構成

1. ロートレック作全ポスター31点を一堂に紹介

『ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ』の発表から10年の間にロートレックにより生み出されたポスター全31点を一堂にご紹介します。

2. ロートレックとミュシャ、二人の活動を比較しながら紹介

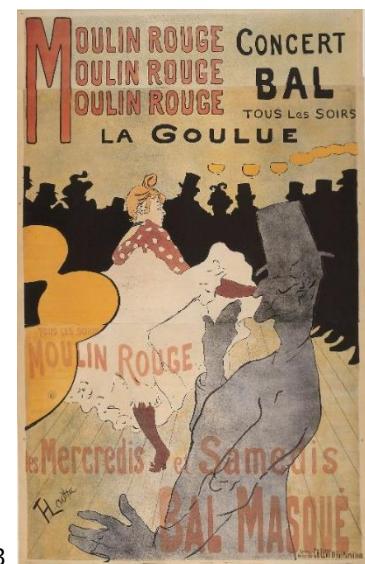
ロートレックがポスター作家としてデビューした1891年から1900年まで、同時期にロートレックとミュシャが発表した作品を比較しながら紹介します。

【章構成】

第1章：

1891年から1894年 『ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ』発表から『ジスマンダ』誕生まで

ロートレックは1891年10月、カフェ・コンセール（下記注）のためのポスター『ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ』を発表、高い評価を得て、これを機に石版画（リトグラフ）に打ち込んでいくことになります。同時期、挿絵画家として活動していたミュシャは、1894年のクリスマス・シーズンに依頼を受け、劇場ポスター『ジスマンダ』を制作、大評判となりました。奇遇にも、二人とも第1号ポスターによって時代の寵児となったのです。



3 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 『ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ（第2ステート）』 1891年

4 アルフォンス・ミュシャ 『ジスマンダ』 1894年

11 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 『ディヴァン・ジャポネ』 1893年

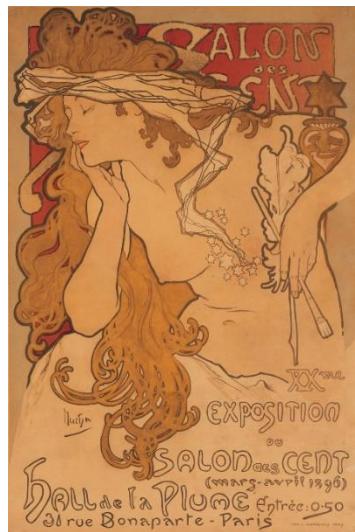
12 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 『アンバサドゥール、アリストイド・ブルアン』 1892年

※カフェ・コンセール：19世紀末パリの歓楽街を特徴づけるダンスホール兼コンサートホールで、お酒や食事、観客同士の会話も楽しめる娯楽施設であり催事場のこと。

第2章：

1895年から1897年「サロン・デ・サン」での競作

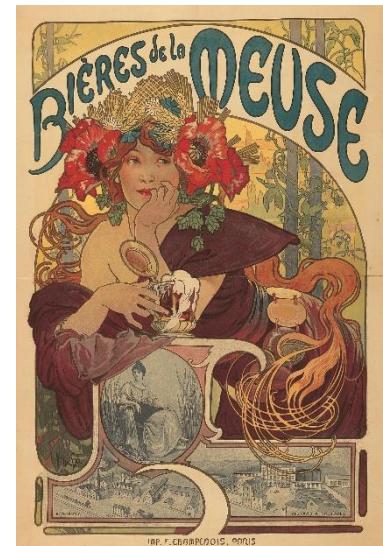
1895年から1897年までの間に、二人の出会いの最大の鍵となる文芸雑誌『ラ・プリュム』が主催する美術ギャラリー「サロン・デ・サン」での展示が開催されています。この時代、ロートレックもミュシャも、様々なオファーにより石版画を制作、また多くの展覧会に出品するばかりでなく個展も開催するなど旺盛な活動を展開していました。



5



6



13

5 アルフォンス・ミュシャ 《サロン・デ・サン 第20回展》 1896年

6 アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック 《『彼女たち』(第4ステート)》 1896年

13 アルフォンス・ミュシャ 《ムーズ・ビール》 1897年

第3章：

1898年から1900年 ロートレックの最後のポスター、ミュシャはパリ時代のピークへ。

この頃から健康状態が悪化していったロートレックは、ドローイングに力を注ぐようになり、最後とされるポスター『学生たちの舞踏会』もドローイングで提案されました。一方ミュシャは、1900年開催のパリ万国博覧会でオーストリア館、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ館で大いに活躍します。この万博への貢献によって、フランス・ヨーゼフ1世勲爵士に任じられるという名誉を受けることになりました。



7



8

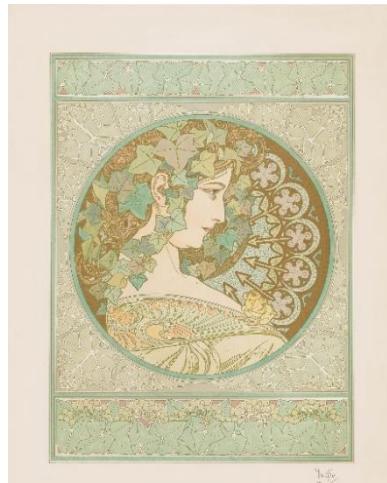
7 アルフォンス・ミュシャ 《アメジスト（連作「四つの宝石」より）》（ドローイング） 1900年

8 アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック 《学生たちの舞踏会》（文字の入れられていないステート） 1900年

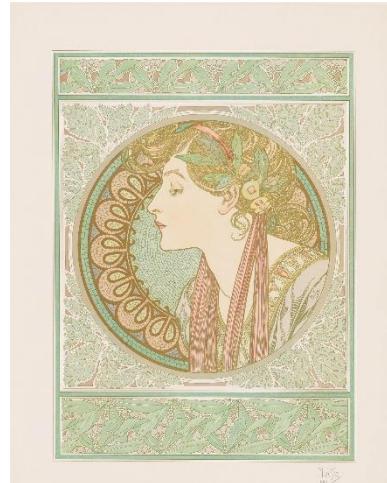
第4章：

1901年以降 ロートレックの死、ミュシャ装飾様式の成熟と完成

1901年、ロートレックは36歳にして最愛の母の居住するマルロメの城で亡くなります。一方、万博を機に故郷チコのために制作する決意を新たにしたミュシャは、パリを離れアメリカへ、そしてチコへと移っていました。この頃パリ時代の集大成ともいえる『装飾資料集』(1902年)を発表、その装飾様式は見事なまでの成熟と完成を見せていました。



9



10

9 アルфонス・ミュシャ 《つた》 1901年

10 アルфонス・ミュシャ 《月桂樹》 1901年

第5章：

同時代のお酒のポスター

この時代、パリ市民の増加と歓楽街の隆盛、娯楽へのニーズの高まり、製造業の活発化などの諸要因により、お酒の製造販売が増え、そのためのポスターも数多く制作されました。ここでは、ピエール・ボナール《フランス・シャンパン》(1891年)をはじめとする同時代のお酒の石版画ポスターを紹介します。

その他：

Paris Map in 1900 1900年のパリを散策する

ロートレック、ミュシャと関わりのあるスポットを示したパリ古地図を紹介します。

開催概要と関連イベントのご案内

- 展覧会名：ロートレックとミュシャ パリ時代の10年
- 会期：2022年10月15日（土）～2023年1月9日（月・祝）
- 開館時間：10:00～17:00
 - * 入場は16:30まで。月曜日、12/31、1/1休館（1/2、1/9は開館）。
 - * 災害などにより臨時で休館となる場合があります。
- 会場：大阪中之島美術館 4階展示室
- 主催：大阪中之島美術館、朝日新聞社
- 観覧料：一般1,600円（1,400円）|高大生1,300円（1,100円）|小中生無料
 - * 税込み価格。カッコ内は20名以上の団体料金。
- 問い合わせ：06-4301-7285（大阪市総合コールセンター）
- 展覧会公式ホームページ：<https://nakka-art.jp/exhibition-post/lautrec-mucha-2022/>

【関連イベント】 各イベントの詳細は大阪中之島美術館公式ホームページに掲載予定。

- ① 芸術作品を未来につなぐ ロートレック作品の保存額装について
 - 講演者：岩井希久子（絵画保存修復家、IWAI ART 保存修復研究所）
 - 日程：10月23日（日）14:00～15:30
- ② ロートレックとミュシャの遭遇 —その可能性とタイミングを探る
 - 講演者：平井直子（大阪中之島美術館主任学芸員）
 - 日程：11月23日（水・祝）14:00～15:30
- ③ 驚きのミュシャ・コレクション —日本におけるミュシャ・コレクション形成とジリ・ミュシャについて
 - 講演者：尾形寿行（アルフォンス・ミュシャ OGATA コレクション所蔵者）
 - 日程：12月25日（日）14:00～15:30

＜会場・定員＞ ①～③すべて

- 会場：大阪中之島美術館 1階ホール
- 定員：150名

④ 学芸員によるギャラリートーク

- 日程：2022年12月18日（日）14:00～15:00
- 会場：4階展示室

★プレス内覧会は10月14日（金）13:00から開催予定です。詳細は後日ご案内いたします。

*本リリースに掲載されている作品は全てサントリーポスターコレクション、大阪中之島美術館寄託です。

—報道に関するお問い合わせ—

「ロートレックとミュシャ展」広報事務局（共同PR内）担当：三井

E-mail. lautrec-mucha-2022-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL. 03-6264-2382 / FAX. 0120-653-545

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10F